

令和元年度 事務事業総点検シート(1)
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類	詳細点検
事務事業名	一般河川改良事業	シート番号	D 建設・整備事業
担当部署名	建設 局 土木 部 河川水路 課	評価責任者(課長名)	柿本

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け	
			施策	7	地域防災力の向上と災害に強いまちづくりの推進	有	
	2	事業開始年度	昭和 60 年度		終了(予定)年度	年度	
	3	根拠法令等 (法令、条例、規則、要綱等)	河川法				
	4	関連計画	堺市地域防災計画、大和川水系西除川ブロック河川整備計画				
5	事業実施の経緯	昭和57年8月に発生した豪雨災害を契機に、管理河川における治水安全度の向上を目的に河川改修工事を実施している。					

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体 (誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()			
	7	事業の対象 (誰を、何を対象としているのか)	一級河川狭間川及び準用河川百舌鳥川			
	8	事業の目的 (どのような状況にしたいのか)	管理河川における治水安全度を向上させることを目的とする。			
	9	事業内容 (スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	市管理河川において、時間雨量50ミリ程度の降雨を安全に流下させることを目標とし、河川改修事業を進める。 ・一級河川狭間川においては、下流部より順次河道改修工事を進めている。 ・準用河川百舌鳥川においては、上流域の約2kmを整備対象区間としており、R2からの河道改修工事の着手に向けて、設計を進めている。			
10	直接実施以外の主な支出先	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				
		請負業者				

Ⅲ. 投入量

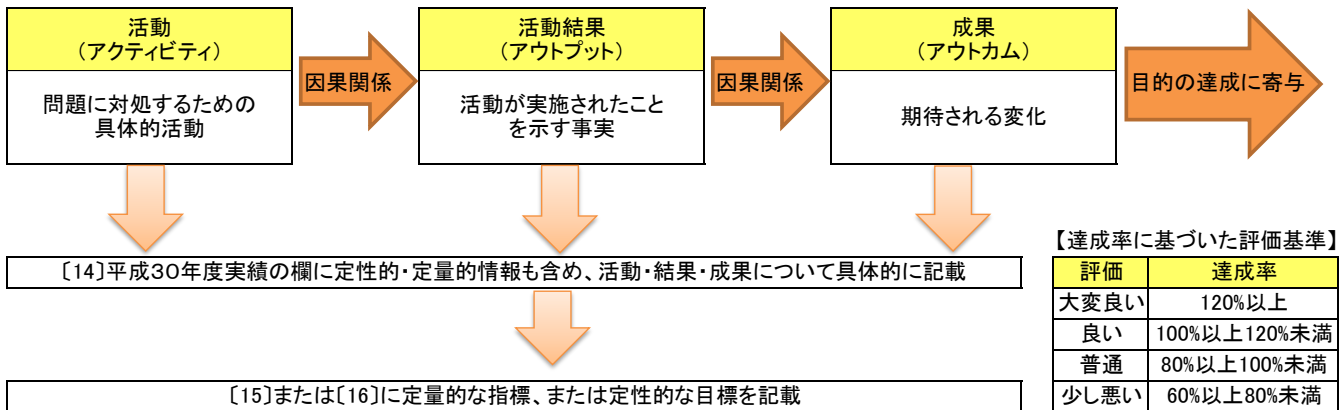
	項 目	単 位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
事業コスト	11 事業費 (a)	千円	108,941	62,109	140,136	487,997	
	主な事業費内訳	狭間川改修事業	千円	108,941	46,094	119,360	454,697
		百舌鳥川改修事業	千円	0	16,015	20,776	33,300
			千円				
	財源内訳	国・府支出金	千円	28,000	15,200	41,200	123,600
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
		市債	千円	66,600	27,700	69,200	243,900
		その他()	千円				
		一般財源	千円	14,341	19,209	29,736	120,497
	12	人件費 (b)	千円	13,120	13,120	13,120	12,960
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	122,061	75,229	153,256	500,957	

令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	一般河川改良事業	シート番号	19-31
-------	----------	-------	-------

Ⅳ. 評価(測定・分析)

ロジックモデルの考え方



【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

事業の活動内容や成果

平成30年度実績								
活動実績と成果	14	<p>一級河川狭間川における平成30年度実績は、以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施設計・測量 L=約70m ・河道改修工事 L=約280m(部分整備含む) <p>現在の進捗は、総延長2.3kmに対し、約1.8kmが整備済(整備率約78%)となっている。</p>						
	15	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		一級河川狭間川における河道整備率	%	目標値	61	64	66	80
				実績値	59	65	78	
				達成率	96%	102%	118%	
		評価	普通	良い	良い			
	算出方法・設定根拠など		<small>目標値: 河道改修の完了予定延長/河道改修が必要な区間延長 実績値: 河道改修が完了した区間延長/河道改修が必要な区間延長</small>					
	16	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
			目標値					
			実績値					
			達成率					
		評価						
	算出方法・設定根拠など							

業績の分析

17	<p style="text-align: center;">目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)</p>
	<p>直近3年の分析は以下のとおり。</p> <p>(1) 平成28年度 部分整備(河床掘削を行わない)であったため、河道改修完了とならず、目標値を下回った。</p> <p>(2) 平成29、30年度 過年度における部分整備区間も含め、河床掘削を行うことが出来たため、目標値を上回った。</p>

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。